

秋田県のヒスイ出土遺跡

栗澤 光 男

1. はじめに

県内におけるヒスイ（硬玉）出土の報告は、これまでに武藤鉄城（武藤1949）、磯村朝次郎（磯村1955）、桜田隆（桜田1993）によって行われている。今回は、これらを基に現在分かっているヒスイ出土遺跡を集成し、今後の基礎データとなることを目的とした。なお、資料はできるだけ掲載するように努め、その大きさが分かるものは第2図の表に記載した。

武藤 鉄城：1949（昭和24年）「ヒスイ製品の原石問題」『秋田文化』第2巻1号

磯村朝次郎：1955（昭和30年）「秋田県における先史硬玉製品」『秋田考古学』第2号

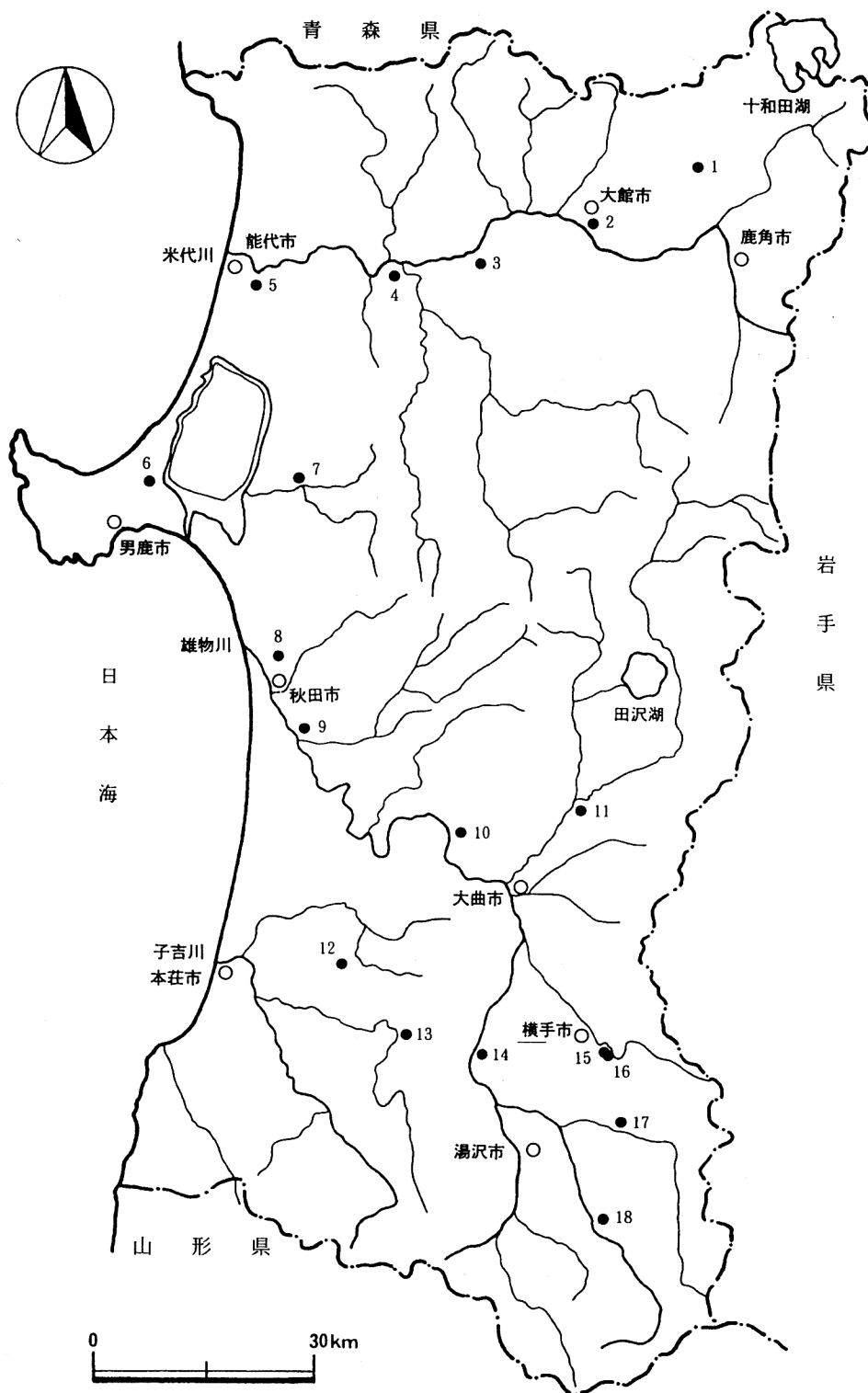
桜田 隆：1993（平成5年）『萩ノ台Ⅱ遺跡発掘調査報告書』秋田県文化財調査報告書第236集

2. ヒスイ出土遺跡

ヒスイ（硬玉）の産地は新潟県糸魚川を中心とした地域であるのは周知のことである。県内では、これまで18遺跡からヒスイが発見されている。その分布は米代川水系、雄物川水系、子吉川水系に見られる。

ヒスイは、縄文時代の墓所に、遺体と共に副葬品されたものが多いが、集落跡からの出土も見られる。このほか古墳遺跡などからも副葬品として出土している。

県内で現在最も古いのは、縄文時代中期の中仙町野口Ⅱ遺跡出土のヒスイである。大きさは径70mmで中央に孔が穿たれている製品である（第2図20）。後期の出土例は大館市萩ノ台Ⅱ遺跡と大内町鹿ノ爪遺跡の2遺跡である。このうち萩ノ台Ⅱ遺跡で出土のヒスイは大珠3個（第2図2～4）で、うち2個（2・3）には、両面と片側面に溝が彫られている。2の溝は幅3～4mm、深さ約0.5mm、3の溝は幅5.5mm、深さ0.3～0.5mmである。このように溝をもつ大珠は他に類例を見ない。晩期になると11遺跡と多く、山内村小田Ⅳ遺跡・虫内Ⅲ遺跡の土壌墓から出土の小玉（第2図5・6）や東由利町湯出野遺跡の土壌墓から出土の勾玉（第2図5）など玉類が多い。縄文時代以後の出土例は、現在のところ奈良・平安時代の古墳遺跡である五城目町岩野山古墳群、雄物川町蝦夷塚古墳群の2遺跡である。いずれも勾玉が出土している。前者では1個、後者では3個の出土である。^{（註）}



第1図 ヒスイ出土遺跡位置図

以上、県内の出土例は僅少であるが、ヒスイを出土する遺跡は県内全域に分布しており、今後増加するものと思われる。また、今回の集成に際し、石質鑑定の不備なもの、その大きさを示していないものが多かった。石質・形状・計測値は記載すべきである。

註. 岩野山古墳群出土の硬玉勾玉。長さ2cm、断面は三角形を呈している(『秋田考古学』第19号)
蝦夷塚古墳群出土の硬玉勾玉(東京国立博物館蔵)。①長さ4.95cm、片面穿孔、不透明で僅かに緑色をおびている。②長さ4.1cm、片面穿孔、質は悪く、不透明で緑色はほとんどなく、数箇所に亀裂がある。③長さ1.4cm、片面穿孔、薄緑色を残している。扁平、腹部に僅かの袢りがあり、勾玉形をしている程度である(『秋田県史』考古編)。

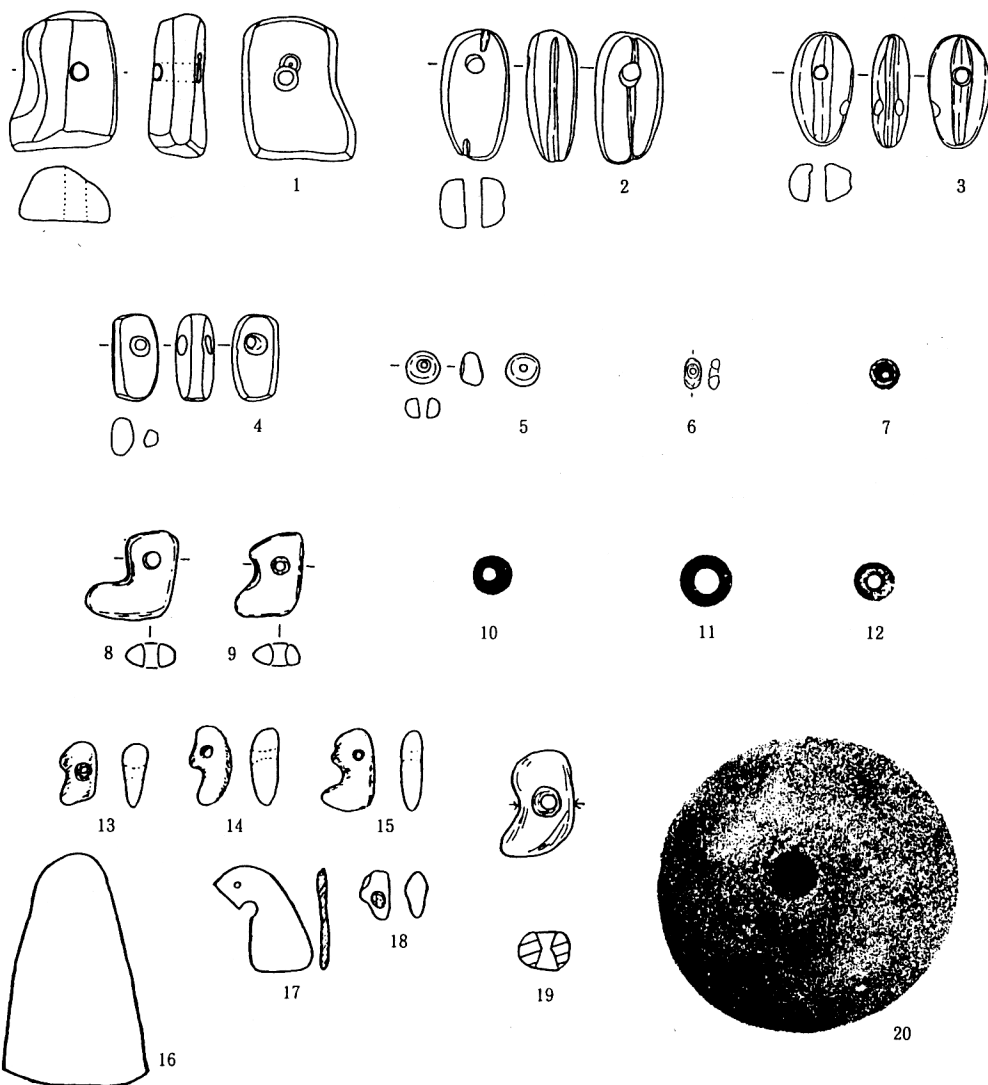
引用・参考文献

- 磯村朝次郎「秋田県における先史硬玉製品」『秋田考古学』第2号 1955(昭和30年)
- 奈良修介・豊島 昂「秋田県南秋田郡五城目町岩野山古墳」『秋田考古学』第19号1961(昭和36年)
- 奈良修介・豊島 昂「秋田県の考古学」郷土考古学叢書3 1967(昭和42年)
- 秋田県教育委員会『秋田県遺跡地図』1976(昭和51年)
- 秋田県『秋田県史』考古編 1977(昭和52年)
- 三上礼子「秋田県における古墳遺跡について」『秋田考古学』第34・35合併号1978(昭和53年)
- 秋田県教育委員会『湯出野遺跡発掘調査概報』秋田県文化財調査報告書第53集 1978(昭和53年)
- 雄物川町役場『雄物川町郷土史』1980(昭和55年)
- 秋田県教育委員会『東北縦貫自動車道発掘調査報告書Ⅹ 一はりま館遺跡一』秋田県文化財調査報告書第109集 1984(昭和58年)
- 森 浩一編『シンボジウム古代翡翠文化の謎』新人物往来社 1988(昭和63年)
- 秋田県鷹巣町教育委員会『藤株遺跡発掘調査報告書Ⅱ』1991(平成3年)
- 秋田県教育委員会『国道103号道路改良事業に係る埋蔵文化財報告書Ⅶ 一萩ノ台Ⅱ遺跡一』秋田県文化財調査報告書第236集 1993(平成5年)
- 秋田県教育委員会『東北横断自動車道秋田線発掘調査報告書ⅩⅢ 一虫内Ⅲ遺跡一』秋田県文化財調査報告書第242集 1994(平成6年)
- 秋田県教育委員会『東北横断自動車道秋田線発掘調査報告書ⅩⅣ 一小田Ⅳ遺跡一』秋田県文化財調査報告書第243集 1994(平成6年)
- 能代市『能代市史資料編考古』1995(平成7年)

遺跡番号	遺 跡 名	所 在 地	ヒ ス イ の 出 土 点 数	時代(時期)	文献番号
1	はりま館遺跡	鹿角郡小坂町小坂字下ノ山	大珠1点	縄文・弥生・平安	9
2	萩ノ台Ⅱ遺跡	大館市池内字上野	大珠3点	縄文(後期)	12
3	藤 株 遺 跡	北秋田郡鷹巣町藤株	小玉1点	縄文(晩期)	11
4	麻 生 遺 跡	山本郡二ツ井町七座字麻生上ノ山	丸玉1点	縄文(晩期)	10・12
5	柏 子 所 貝 塚	能代市字柏子所	小玉3点	縄文(晩期)	15
6	滝 の 頭 出 土	男鹿市五里合鮪川滝の頭付近畑地	勾玉3点	縄文(晩期)	1・3・4
7	岩 野 山 古 墳 群	南秋田郡五城目町上樋口字樽沢	勾玉1点	奈良・平安	2・3・6
8	上新城中学校遺跡	秋田市上新城五十丁字小林	丸玉・勾玉各1点	縄文(晩期)	10・12
9	地 方 遺 跡	秋田市上北手猿田字堤ノ沢	勾玉1点	縄文(晩期)	10・12
10	殿 屋 敷 遺 跡	仙北郡西仙北町土川字栗木沢	勾玉1点	縄文(晩期)	10・12
11	野 口 Ⅱ 遺 跡	仙北郡中仙町清水字野口田中	大珠1点	縄文(中期)	3・4・5
12	鹿 ノ 爪 遺 跡	由利郡大内町岩野目沢鹿ノ爪	勾玉1点	縄文(後期)	10・12
13	湯 出 野 遺 跡	由利郡東由利町老方字湯出野	勾玉2点	縄文(晩期)	7
14	蝦夷塚古墳群	平鹿郡雄物川町造山字蝦夷塚	勾玉3点	奈良・平安	3・5・6・8
15	小 田 Ⅳ 遺 跡	平鹿郡山内村土淵字小田	小玉1点	縄文(晩期)	14
16	虫 内 Ⅲ 遺 跡	平鹿郡山内村土淵字虫内	小玉1点	縄文(晩期)	13
17	菅 生 田 埴 遺 跡	雄勝郡東成瀬村田子内字菅生田埴	勾玉1点	縄文	10・12
18	女 男 沼 遺 跡	雄勝郡稲川町三梨字女男沼	勾玉1点	縄文(晩期)	10・12

ヒスイ出土遺跡一覧表

※遺跡番号6については、上鮪川(かみしびかわ)Ⅰ遺跡と思われる。その所在地は、男鹿市五里合鮪川字上鮪川50である。



(長さ・幅・厚さはmm、重さはgである。)

番号	出土地	長さ	幅	厚さ	重さ	番号	出土地	長さ	幅	厚さ	重さ
1	はりま館遺跡	22.0	—	—	—	11	柏子所遺跡	—	—	—	—
2	萩ノ台Ⅱ遺跡	51.5	26.5	20.0	55.51	12	柏子所遺跡	—	—	—	—
3	萩ノ台Ⅱ遺跡	44.5	24.0	16.0	30.47	13	井川町	24.5	—	9.8	4.795
4	萩ノ台Ⅱ遺跡	34.5	17.5	15.0	17.38	14	滝の頭	31.0	—	15.0	9.581
5	小田Ⅴ遺跡	12.5	13.5	8.5	2.56	15	滝の頭	32.4	—	8.5	10.01
6	虫内Ⅲ遺跡	13.0	7.0	4.5	0.50	16	男鹿北浦	61.5	—	2.5	—
7	藤株遺跡	—	—	—	—	17	男鹿北浦	42.0	—	3.5	—
8	湯出野遺跡	—	—	—	—	18	滝の頭	—	—	—	—
9	湯出野遺跡	—	—	—	—	19	大湯	19.0	—	9.0	—
10	柏子所遺跡	—	—	—	—	20	野口Ⅱ遺跡	70.0	—	—	—

※ 番号13・16・17・19の出土遺跡は不明。

第2図 ヒスイの類例